ナンバリング	授業科目名（科目の英文名）	区分
M212T202	精神看護方法論 Ⅰ （Psychiatric and Mental Health Nursing Practice Ⅰ）	専門教育科目 精神看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担 当 教 員
必修	1	2	後	水・4，5	岩本祐一，折橋隆三 内線：5074　　E-mail：yiwamoto@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

精神保健の保持増進および疾病予防と回復の援助に必要な基礎的知識と技術を習得する。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1．精神看護に関連する理論を理解する。							○
2．精神障がいの診断や治療について理解する。	○						
3．地域の精神保健活動について理解する。				○			

【授業の内容】

1-3	精神看護に関連する理論 ①
4-6	精神疾患を持つ対象者の看護
7	精神科救急医療の実際
8-9	発達障がい児（者）の地域医療・福祉
10-11	精神看護に関連する理論 ②

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	講義終了毎に提出するアクションシート	・臨床から講師を招き、精神科救急の実際について学べるようにする。 ・ワーク等を取り入れ、各学生が意見を述べる機会を設ける。
B：意見の表現・交換	○	グループでの検討、発問	
C：応用志向	○	事例の検討	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書、参考文献等を用い次回の学習内容について予習する。
事後学修	配布資料と、適宜教科書を用い学習した内容を復習する。

【教科書】

岩崎弥生他編： 精神看護学①精神看護学概論　精神保健（新体系　看護学全書），メヂカルフレンド社　第5版,2019

岩崎弥生他編：精神看護学②精神障害をもつ人の看護（新体系　看護学全書），メヂカルフレンド社　第5版,2019

河村奈美子他編：看護の治療的コミュニケーションと心のケア：実践力を高めるワークブック,大学教育出版,2021

【参考書】

参考文献等は適宜提示する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標１	目標２	目標３
レポート、講義への参加状況等	20%		○	○
期末試験	80%	○	○	○

【注意事項】

講師の都合により講義日程を変更することがある。

【備 考】

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	看護師	
教員以外で指導に関わる 実務経験者の有無	○	
教員以外の指導に関わる 実務経験者	看護師、精神保健福祉士	
実務経験をいかした 教育内容	精神看護学領域において、エビデンスに基づいた質の高い看護実践を行うために、看護実践の理論と基盤となる構成概念を講義する。	